

～すべてのビジネスパーソンが身につけるべき知識・スキル～

マインド・スタンス：DXを自分事としてとらえ、各層が変革に向けて行動できるようにする

人材育成事業（DXリテラシー）で目指す姿

企業	従業員層	データやデジタル技術に関する基礎的な知識をつけ、DX推進に伴い組織内で起きる変化への受容性を高めるとともに、データや技術を業務に主体的に活用できる人材を育成する。
	リーダー層	事業内容そのものや業務について知見のある人材がデータやデジタル技術の知識を身につけることで、企業・組織におけるDXの可能性や方向性の検討、社内外の人材との協働を通じてDXを推進できる人材を育成する。
	経営者層	データやデジタル技術を活用したビジネス変革、組織変革等のDXや従業員のリスクリソングの必要性についての啓発・情報提供を通してDXに取り組む企業を増やす。
学生等	次世代（若年層）	最先端のデジタル技術や世の中で起きているDXの事例等から、その有用性を実践的に学び、知識を活かしたアイデア創造や実装体験を通して、デジタル社会で活躍できる技術力・発想力を持ち主体的に未来を創造していく人材を育成する。

DX推進スキル

～DXを推進する人材の役割や習得すべき知識・スキル～

人材育成事業でのDX推進人材のスキル区分

ビジネスアーキテクト	DXを推進する上での現状分析や目的設定から、システムやソフトウェアの導入・導入後の効果検証、社内への浸透までを社内外の関係者と一緒に推進する人材。
デザイナー	新製品や新サービスのアイデアをビジネスとして成立させるため顧客視点を取り入れビジネスモデルやプロセスをデザインし、ビジネス変革のための企画・立案・推進等を担う人材。
ソフトウェアエンジニア	最新のテクノロジーを駆使し、DXの推進において必要となるシステムやソフトウェアの設計・運用・実装を担う人材。
データサイエンティスト	データやAIを意思決定プロセスや付加価値創出に活用するため、必要なデータの収集、分析する仕組みの設計・実装・運用を担う人材。
サイバーセキュリティ	DX推進に伴うサイバーセキュリティの影響を考慮し、デジタル環境を支える管理者として適切なセキュリティ対策を実施する人材。